

【プロの仕事ですねえ】



1年生が中庭でブランコに乗っているのを見て、（おやおや、いやにキイキイいうなあ）と思ひまして、H先生に油を差していただくように頼みました。すると、H先生はすかさず動いてくださり、ブランコのキイキイ鳴るのを直してくださりました。私がお礼を言うと、H先生は「ブランコが直っているか試しに乗っていたら、見ていた子どもに『先生遊んでる～』と言葉を掛けられました」と話してくださりました。

これを聞いて、さすがH先生と思ひました。ブランコが本当に直ったのかを自らが乗って確かめる。例え、子どもたちに見られて突込みを入れられようとも、最後まで責任を持って仕上げるプロの仕事を見せていただいたように思ひます。しかし、これを聞いて、私もH先生がブランコに乗っている姿を想像して思わずくすっとしてしまいました。すみません(#^#)

【がんばれのかけ声】



12月からマラソン月間が始まりました。子どもたちは、思い思いに朝や休み時間、マラソンにチャレンジしています。体育では駅伝を行っている学年もあります。外コースを走るので安全面も考えてプール西側の道路に私か、教頭先生がスカウトされて応援方々立っています。

その1回目。歯をくいしばって、がんばって走ってくる子どもたちにいつものように「がんばれ！！」と声をかけました。そうです。この言葉は今まで、何回、いや何十回、何百回と子どもたちにかけてきた言葉です。しかしふと、（がんばっている子どもたちにがんばれは違うかなあ。なんかもっといい言葉はないのかなあ）と思ひ、「がんばってるぞ」「いいぞお」「かっこいいぞ」って声をかけてみました。するとどうでしょう。子どもたちの顔が瞬時にやる気に満ちて、ちよっぴり笑みを見せて、走るスピードも上がるのです。

そうかあ。いやあ、申し訳なかったなあ。私は、今まで、もうすでにがんばっている子どもたちに、何回、何十回、何百回と「がんばれ」をぶつけ続けてきてしまったなあ、と胸がしめつけられる思いがしました。そして、どうしてこのようなことに気づけなかったのだろう？という思いも湧いてきました。「がんばっている時のがんばれ！は、がんばれにならない」担任から外れ、ちよっぴり子どもたちを遠くから見つめることができるようになったからこそ、気づけたことなのかもしれないなあと思ひました（ちなみに、教頭先生は「Go Go」と声をかけていたそうです。どうしてがんばれを言わないの？と聞いたら、自分が走っている時に「がんばれと言われてもがんばれない」からだそうです。気づいていましたかあ。さすがです）。